

第6回全学実行委員会議事要旨

文責:阿部潤

本文書では以下の略称を用いる。

参加者の略称:

委員長(全学実行委員長)

局長(全学局長)

会計(全学会計)

榆(榆陵祭代表)

薬(薬学祭代表)

工(工学祭代表)

IFF(International Food Festival 代表)

農(農学祭代表)

獣医(獣医学祭代表)

歯(歯学祭代表)

医(医学展代表)

文(文系祭代表)

理(理学祭代表)

その他の略称:

各祭(北大祭を構成する上記の各種学祭)

委員会(委員会という場合、組織としての全学実行委員会を指す)

実委(実委という場合、会議としての全学実行委員会を指す)

事務局(北海道大学大学祭全学実行委員会事務局)

1. 榆陵祭からの議案

開催時期の決定方法について、各祭によって希望する日程や順位がまちまちであるため、希望を聞いてから話し合いをするという風に議案を変更する。

候補

候補 1: 9月10日から12日

候補 2: 9月13日から30日

候補 3: 10月中

候補 4: 11月

各祭の希望

獣医	候補 3、4 を希望、順位はない。実習の関係で 9 月中は厳しい。
楡	前回の通り、候補 3 は外したい。順位としては 1→2→4 の順番
医	候補 3、4 を希望。順位はない。9 月中に対面開催を目指すのは厳しいと思う。
歯	候補 3、4 を希望。10 月中に終わらせたい。最悪食品提供のある各祭に合わせる。
薬	候補 2 を希望。10 月からは授業が忙しくなるため準備に時間が割けない。候補 1 だと学部棟の使用ができない。
工	候補 2 を希望。夏休み中の 3 日間開催、教室の使用の幅が広いなどの観点からである。工学祭としては学部棟の利用状況がまばらであるためどの日程でも変わらない。
理	候補 2、3 を希望。しかし日程はフレキシブルに対応できるため他の各祭に合わせることができ、試験や学会を考えてこの日程。
文	候補 3,4 を希望。しかし日程については柔軟に対応可能。
農	どこでも対応可能。楡陵祭と IFF の意見を重要視したい。
IFF	どこでも対応可能。飲食物提供不可を前提として考えている。

工) 本来の日程の後ろに予備日程を設けてはどうか。スムーズに切り替えが行くと考える。

委員長) 今日予備日まで決めるということか

工) 日程の確定をする日に予備日程も同時に決めることを考えている。

委員長) 延期先は本来の日程から 1 か月以上開ける必要があると考える。その場合、11 月中旬以降は雪が降ることを考慮すると、今の候補から延期先を決めるのは厳しいのではないかと。

委員長) 楡へ、投票後の話し合いはどういったものを想定しているのか

楡) 決選投票後に各祭がどういったことを考えているのかを知りたい。候補 3 を希望している各祭は同時にほかの日程も希望しているため、楡陵祭としては厳しい候補 3 を外したい。

委員長) 各祭ごとで希望時期がまばらであるため、日程を話し合いで決定するのは厳しいのではないかと。

文) 局長へ、もし 9 月開催になった場合、事務局としての準備は間に合うのか

局長) 間に合うように善処します

獣医) 開催日程は食品提供にかかわると考えている。9 月だと食品提供は厳しいかもしれないが、11 月だとワクチン接種などが進んで可能になる可能性がある。ほかの各祭(特に楡、IFF)がどのように考えているのかを聞きたい。

楡) 獣医学祭の意見には納得している。そういう意味で 11 月の選択肢も視野に入れてはいいのではと考えている。

獣医) ワクチン接種のスケジュールや状況を見てから判断してもよいのではと感じたが、9 月開催は

このような観点からもどうかと思っている。

IFF) 食品提供をできないことを前提として文化祭のような開催形態を考えている。現時点では時期などのこだわりについては考えていない。

獣医) 楡へ、楡陵祭は食品提供の比重はどれくらい重いのか。

楡) 屋外団体の数は全体の 6, 7 割を占めている。団体が活動できるように食品提供は進めていきたい。

獣医) 参加団体の収益が下がることよりも参加団体の数が減ることがより問題か。

委員長) 楡へ、11 月開催に反対している理由の一つとして、深夜機材番のひとがストーブを使うため防災の観点からやめてほしいというものがあったがどうであるか。

楡) 実現不可能ではないため 11 月でも大丈夫であると判断した。

委員長) 楡陵祭の一存で開催時期を決定することはないと思うが、話し合いについてはどうか。

楡) 11 月開催が丸いのかなと考えている。薬学祭・理学祭以外は 11 月でも参加可能であるためである。(追記:理学祭は 11 月でも対応可能である)

工) 金銭授受がある模擬店を行う各祭へ、団体の採算は取れない形になってしまうのか。

楡) 楡陵祭の会計について、収益に関しては厳しいが、模擬店に頼りきりではないためおそらく大丈夫である。

工) 団体目線の収益についてはどうか

楡) 団体目線のことは正直わからないが、収益が減る可能性があることは団体に説明する必要がある

IFF) 個人的にはできるだけ団体を構えたい。しかし団体目線だとコロナ過の動きでどのように変わりがわからないためどのように動くかは現在検討中である。

獣医) 収益が下がるのは少し問題になると思うが、収益は上がらないものであると考えているので別に構わない。

農) 最大 2 店舗しか出さないこと、直前になって中止になることを想定して準備を進めているためそれほど影響はない。

局長) 今年収益が少なくなったとして、来年以降の祭りの運営が厳しくなってしまうことはあるのか。

楡) 収益を出すことをあきらめることも視野に入れている。祭りが中止になって利益が 0 になることは避けたい。

文) お金がかかる企画を想定していないため問題ない。

理) 土曜日の午前で採算がつくこともあるため 2 日間で大きく変わることはあまり関係がないと考える。[2, 食品提供にかかる話し合いの中で発言]

農)開催の日程について、薬学祭のみ11月は難しいとのことであるが、依然としてそうなのか。

薬)授業が忙しくなるが、11月に決まった場合はみんなで努力して準備を進めていく。

農)言わせてしまっている面もあるが11月開催で一致できるのではないかと。

委員長)理学部も11月開催は厳しいと言っている。委員長の一存で決めることはしたくないためできるだけ同意を取りたい。

理)理学祭は11月開催でも対応可能である。

委員長)楡へ、最終的な決定方法はどうか。

楡)楡陵祭としては11月でいいと考えている。11月開催を承認か不承認か棄権かで議決を取る。

11月開催についての議案

棄権:0

不承認:0

承認:10

よって開催時期を11月中、開催日程を11月6,7日で調整することに決定した。

各学部の教室の利用状況について確認が取れ次第全学実委グループまたは委員長に共有していただきたい。

2,食品提供にかかる話し合い

事務から明確に食品提供を許可、禁止される可能性は低い。そこで全学実委で方針を決定することで今後の指針になる。食品提供を行わない方針に決定した場合でも「食品提供を行わないプラン」の作成、改訂は行う。食品提供を行うとなった場合、「食品提供制限案」のような形で一定の制限を設ける可能性がある。食品提供を行った場合、団体の利益になる、各祭実行委員会構成員のモチベーションが上がるのが利点であるが、北大祭直前に食品提供が中止になる可能性がある。食品提供を行わなかった場合、各祭実行委員会構成員のモチベーションが下がることが考えられるが、オンライン企画や他の対面企画などの内容を充実させることが出来る。

各祭の意見

歯	歯学祭として食品提供はない。北大祭の最大の魅力は食品提供であると考えているが、衛生上厳しいのではないかと。
理	毎年食品提供をしているわけではないのであってもなくても問題はない。食品提供は北大祭の魅力の一つであるが、コロナの先が見えないためどちらのパターンも用意する形になると考えている。
獣医	食品提供をしないと赤字になってしまう。出資金を募る時点で問題が生じるがこちら側

	で解決する。コロナ過において食品提供をするのはどうなのかと考える。しかし 11 月開催になったためどちらにも対応できるようにするのが良いと思う。
楡	楡陵祭としての活動にもかかわってくるのでできるだけ食品提供はやっていきたい。模擬店あつての北大祭であると思うので北大祭全体としてもやっていきたい。もし食品提供ができなくなったとしても対応できるプランを考えていきたい。
医	医学展としての食品提供はおそらく行わない。北大祭全体としては、期間が開くため食品提供の可能性を考えてプランを立てるのは構わないが、ほかのプランも同時に考えてほしい。今まで通りのことはできないので今の状況で何ができるかを考えてほしい。
薬	薬学祭は食品提供だけをしているわけではないため対応可能である。できるに越したことはないが、世間体を考えるとしないほうが良いのではないかな。対面で食品提供以外をすることを考えるのがいいのではないかな。
工	工学祭として食品提供はない。直前に食品提供が中止になった場合、違約金を払分ければならない。違約金発生前に食品提供の有無については決めたい。そのデッドラインまでは事務と交渉し続けて、何も言っていない場合は開催してしまう、もし何も言っていないかつ直前に中止を勧告してくる場合は金銭的な面を事務に抗議するのが良いのではないかな。
文	文系祭として食品提供はない。北大祭全体として、模擬店は北大祭の魅力であるためできるだけやりたい。食品提供ありからなしにするのは可能であるため食品提供ありを想定して考えるのが良いと考える。
農	今年は農学祭としては、模擬店は最大 1, 2 個出すくらいでいつでも中止できるような構えを取る。クラスやサークル間で楽しむことが目的であるため食品以外を主力にすることを想定している。北大祭全体として、食品提供をメインで置くことは厳しいかもしれないが、プランとして考えるのはありだと思う。
IFF	IFF は食品提供を主体としているため食品提供ができるとよいが、様々な開催形態を想定してプランを練っている。

3,今後の予定

6月14日(月)18:30~前期第7回全学実委：食品提供の是非について(投票)

→委員長がこの時期に食品提供の是非について投票することは時期尚早である可能性があるため、判断したため、数回程度投票を遅らせる可能性がある。

6月21日(月)18:30~前期第8回全学実委：中止または全面オンライン開催の決定時期について

6月28日(月)18:30~前期第9回全学実委：未定(事務との交渉内容の共有?)

以上